

<2016年1月18日総会記念講演内容のまとめ>

研究部会 住本（記）

1. 講師：流通経済大学 流通情報学部 大学院物流情報学研究所 教授
工学博士 矢野裕児 氏
2. 演題：ロジスティクスの今後の展開について
3. パワーポイントを使用して説明
今後のロジスティクス展開をどのように考えるか、震災リスクへの対応、ネット販売オムニチャネルへの対応、トラックドライバー不足問題、物流人材の育成の視点からお話し頂きました。
 - 3-1 「企業の競争力強化と豊かな生活を支える物流のあり方」2015年10月20日 一般社団法人 日本経済団体連合会の提言を紹介された。
住本注釈：さらに詳細を知りたい方は、以下をご参照ください。
<http://www.keidanren.or.jp/policy/2015/093.html>
 - 3-2 「今後のロジスティクスを考える時の視点」について以下の項目を説明された。
 - ◇ リスクへの対応
 - ◇ ネット販売はロジスティクスを変える
 - ◇ トラックドライバー不足問題がロジスティクスを変える
 - ◇ 高度な物流人材の確保
 - ◇ オリンピックと物流
 - 3-3 「震災リスクにどのように対応するか」について以下の内容を説明された。
今後、発生が予想されている首都直下地震、東海地震、東南海・南海地震は、東日本大震災よりさらに甚大な影響を、ロジスティクス、サプライチェーンにもたらす可能性が高い。
 - 今後、発生が予想されている大規模な地震に対応するためには、平常時とは全く違った、有事対応の体制構築が必要。
 - 物資の確保を考えた場合、公共による対応は限界があり、民間による物資の調達、供給備蓄がなければ、成り立たない。
 - 企業が連携・協力し、調達も含めた食品サプライチェーンの構築が必要。
さらに調達、生産、ロジスティクス、店舗等について具体的対応事例を紹介された。
 - 3-4 「ネット販売がロジスティクスを変える」について、現状・課題等を説明された。
 - 3-5 「トラックドライバー不足問題がロジスティクスを変える」について現状・課題を説明された。

最後に、物流人材の育成について、アジア、中国などの事例を紹介された。

パワーポイントで、多くの図表を事例にして詳細に説明され、大変参考になった。